

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.324】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ヨハネス・ブラームス

曲名：交響曲第4番ホ短調 op. 98

演奏：キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55031>

2023年11月4日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。

ペトレンコがモーツァルト、ベルク、ブラームスを指揮

首席指揮者キリル・ペトレンコは、ドイツ・オーストリア音楽の伝統において、深淵を覗き込むような作品に繰り返し取り組んでいます。今回演奏される、モーツァルトの交響曲第29番には軽快さと潜在的な絶望感が混在しており、ベルク「管弦楽のための3つの小品」では、ワルツや行進曲の響きが悪夢のように異化されます。ブラームスの交響曲第4番は、後期ロマン派のレパートリーの中でも最も壮大な作品の一つであり、琴線に触れる憂愁に満ちています。

以上の他に下記が演奏されました。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 交響曲第29番イ長調 K. 201

アルバン・ベルク 管弦楽のための3つの小品 op. 6 (1929年改訂版)



モーツァルトの交響曲第29番はお馴染みの曲で、軽快で洗練された旋律が続きます。最近導入されたLANアキュライザーのおかげで、モーツァルトらしい和音が美しく奏でられていることが分ります。

アルバン・ベルクの管弦楽のための3つの小品は、初めて聴くもので、打楽器が活躍するおどろおどろしい表情から金管の咆哮まで、緊張感を強いられる曲で、ペトレンコの指揮もモーツァルトとは一変して激しいものとなります。

ブラームスの交響曲第4番は、これもお馴染みの曲です。1楽章と2楽章ではブラームスの曲のなかでは、美しい旋律による憂愁の趣をたたえたロマンチックな表現がありますが、そういった情景を感じ取ることができます。3楽章は軽快に、そして4楽章は悲劇的な表情をみせながら終わります。

スイッチングハブからPCへのLANリベラメンテにLANアキュライザーを装着したことにより、モーツァルト、ベルク、ブラームスとそれぞれの表情の異なる曲の展開を楽しむことができました。



以上